

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
包帯固定学						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
柔道整復学科・夜間部	1年	後期	遠畑 篤史	○		
分野区分		教育課程		講義形式	単位	コマ数
専門分野		臨床柔道整復学		実技	2	42
科目概要						
<p>柔道整復の基礎技術を身に付ける。</p> <p>主に、固定法における目的、役割、固定材料の種類を理解し、基本包帯法を巻くことができる。 (「臨床実習前施術試験等」として実習における態度・マナーを身に付けることができる。固定材料等の取扱い方を理解することができる。)</p>						
目標						
<p>一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標</p>	<p>柔道整復師として臨床現場で必要とされる固定具材の基礎的な知識と、基本的な包帯法を学び、主に包帯を使用した固定方法の習得を目標とする。</p>					
<p>到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、量、形式的な指標(合格基準)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 固定具材の名称を言える 2 固定具材の特徴と使用方法を言える 3 基本的包帯法の適性と使用方法を実践出来る 4 臨床現場で必要とされる実践的な包帯固定を施行出来る 					
履修に必要な予備知識や技能						
<p>包帯固定がなぜ必要なのか、固定をすることでどんな効果が得られるのか、またはどんなリスクを伴うのかなどの想像力が必要である。そのために、最低限の外傷への知識や身体の構造についての知識が必要。</p>						
教科書・参考書						
柔道整復理論・包帯固定学						
受講上の注意						
<ol style="list-style-type: none"> ①専用上履き・白衣着用・頭髮、爪等の衛生上の管理、腕時計・指輪等は外すこと ②原則携帯電話、スマートフォン等の使用禁止 ③動画撮影は禁止 ④実技中は悪ふざけしたり、危険行為や他の学生に不快な思いをさせる行動・発言・態度はしないこと ⑤以上の注意事項や指示に従えないものには退室を命じることもある 						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)			90		10	100
実技試験実施要項						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	ガイダンス、固定具材の紹介と名称			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第2回	巻輪帯の巻き方と巻き戻し			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第3回	基本包帯法①			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第4回	基本包帯法②			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第5回	上肢の基本包帯法①			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第6回	上肢の基本包帯法②			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第7回	上肢の基本包帯法③			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第8回	上肢の基本包帯法④			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第9回	上肢の基本包帯法⑤			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第10回	下肢の基本包帯法①			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第11回	下肢の基本包帯法②			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第12回	下肢の基本包帯法③			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第13回	下肢の基本包帯法④			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第14回	下肢の基本包帯法⑤			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第15回	下肢の基本包帯法⑥			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第16回	下肢の基本包帯法⑦			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第17回	体幹の基本包帯法①			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第18回	体幹の基本包帯法②			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第19回	実技試験①			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第20回	実技試験②			包帯固定学	筆記用具・白衣	
第21回	解説 復習					
実務経験と本講義との関連について						
<p>東京都練馬区にて平成1年5月接骨院開院、22年目、骨折・脱臼・捻挫などの長年の臨床経験をもとに基本包帯法を講義・実習する。</p>						
メールアドレス						
toohata-t@nihonisen.ac.jp						